



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヴェレーナグラン山手	階数	地上7F地下1F
建設地	神奈川県横浜市中央区磯崎町2丁目71番7	構造	RC造
用途地域	1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	348 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 竣工	評価の実施日	2017年12月15日
敷地面積	5,369 m ²	作成者	株式会社スタイレックス
建築面積	2,623 m ²	確認日	2017年12月15日
延床面積	12,565 m ²	確認者	株式会社スタイレックス

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79% (108 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 79% (108 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 79% (108 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	3.0
温熱環境	2.7
光・視環境	3.1
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	3.3
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.8

生物環境	1.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

建物外皮の熱負荷	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.4
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.6
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

地球温暖化への配慮	3.8
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	住宅性能評価を受け、建物の耐久性、空気環境、高度通信インフラ、設備の維持管理に配慮を行い、バランスある共同住宅を計画している	その他 特になし
Q1 室内環境	住戸の過半が南側に窓を有する F☆☆☆☆を全面的に採用	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により良好な景観を形成
LR1 エネルギー	BEI=0.88としている。	LR3 敷地外環境 緑化により敷地外への熱的な影響を低減させている 高効率給湯器採用
Q2 サービス性能	1Gbitクラスのブロードバンド回線 住宅性能評価 3-1劣化対策等級3	
LR2 資源・マテリアル	内装下地にLGS下地を採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



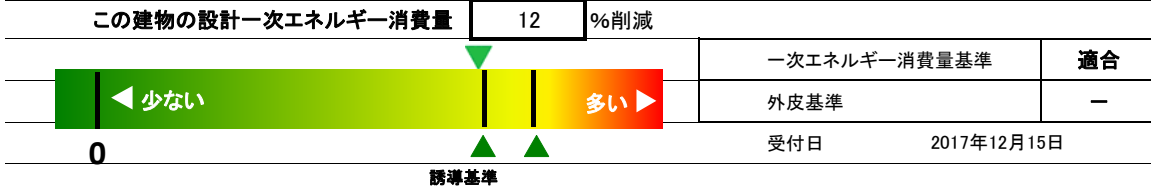
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **ヴェレーナグラン山手**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③高効率給湯器採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 2**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級3 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆を全面的に採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防 災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑱外構緑化指数19.63%

⑲植栽により良好な景観を形成

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入